



PLESS RELEASE

各位



.....
パラクライミング日本代表の大内秀之選手が「障害が絶望ではない！希望が無いことが絶望である！！」をテーマに講演～大阪国際大学人間科学部
.....

大阪国際大学(大阪府守口市、学長:宮本郁夫)人間科学部スポーツ行動学科では、障がい者にとってのスポーツの必要性・意義・価値を学ぶことを目的に、6月19日、2021年度パラクライミング日本代表の大内秀之選手を招いて、自身の障害や日常生活、スポーツ活動、スポーツ以外の活動についての講演会を実施した。講演の中で同選手は「(障害を理由に)できるかどうかではない。仲間のために自分の役割に全力で挑戦する。人は全力で行う姿に感動する。この中にいる誰もが誰かを感動させる力を持っている」と、障害に負けない力のある言葉を学生に投げかけた。

本学人間科学部スポーツ行動学科では、(公財)日本障がい者スポーツ協会認定の初級および中級障害者スポーツ指導員の資格を取得できる。今回、そのカリキュラムの1つである「障害者スポーツ指導実習I」の授業の中で、スポーツ活動をしている障がい当事者から直接体験談を聞き、ふれあいを通じて多様な価値観を育む機会として、大内秀之選手の講演会を実施した。

(なお、本講演会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部 Zoom を利用して実施した)

【プロフィール】

大内秀之(一般社団法人フォースタート 理事長)

1979年生まれ、兵庫県川西市出身。生後すぐ、脊髄に悪性腫瘍があることが判明し、摘出手術を受けるも左腎に転移し摘出。2度の大きな手術を経験し、両脚に重い障がいが残りほとんど動かせなくなる。大学卒業後に社会福祉士を取得し、現在は、堺市立健康福祉プラザ市民交流センターにて障害者アート活動の支援を行っている。また、全ての人がある存在を認められる社会の実現をめざし「一般社団法人フォースタート」を設立した。高校生の頃に車椅子バスケットに出会い、伊丹市のチームに所属。2017年にクライミングを始め、同年初開催されたパラクライミング日本選手権車椅子部門で優勝。その後3年連続で日本一に輝き、2019年フランスで開催された世界選手権では銀メダルを獲得した。そして2021年3月、広島県で開催されたパラクライミング日本選手権大会で見事優勝し、2021年度パラクライミング日本代表選手に選ばれた。

▼本件に関する問い合わせ先

大阪国際大学 人間科学部 スポーツ行動学科 谷川 哲朗

TEL: 06-6902-0791(代)

(発信元:大阪国際学園法人本部事務局 企画・広報室)